

**(6) 再生可能エネルギーを活用した産業の振興**

再生可能エネルギーの導入は、地球環境の保全はもとより、産業の振興や住民福祉の向上において、有効な手立てであると考えています。

このため、再生可能エネルギーの導入促進について積極的に進めてまいりましたが、今後は、企業の立地支援のみならず、町内独自のエネルギー源の確保と、それを自由に融通するために必要な、たとえば可搬型の蓄電池などの設備の導入といった、町独自の展開を進めていく必要があると考えています。

電気エネルギーの確保は、災害対応など住民の安全・安心にも大きく寄与することから、まずは、公共部門を中心とした導入や運用について検討を進めてまいります。

**3. 誰もがいきいき暮らせる健康・医療・福祉の推進**

**(1) 健康づくりの促進**

令和元年度に中間評価・見直しを実施した「八雲町健康増進計画」に基づき、健康づくりの主体である町民一人ひとりが、自分の健康状態に関心を持ち、具体的な取り組みができるよう、地域や関係機関と連携をとりながら、町民の健康意識の高揚と知識の普及啓発に努めてまいります。

**(2) 医療体制の充実**

八雲総合病院では、特に、内科常勤医師の確保に苦慮

し、非常に厳しい経営環境となつています。引き続き医師の確保を最優先に対応してまいります。また、不足する医療従事者についても、より広く働きかけを行い充足を図ってまいります。

令和2年度は、昨年、経営改善のため導入した医療コンサルティングを継続し、診療体制、看護体制、経営管理体制等、抜本的な改革に取り組み、経営健全化に努めてまいります。

今後とも地域センター病院として、町民の皆さまをはじめ、地域の皆さまに安心して受診していただける病院づくりを、院長と共に私が先頭に立ち、職員一丸となつて進めてまいります。

熊石国保病院は、医師2名体制により地域医療の充実に取り組んでいるところですが、建物の老朽化が著しく、建て替えが必要な状況となつています。高齢化が進む熊石地域にとつて大切な存在であるほか、近隣地域からも信頼される医療機関となつており、今後においても地域医療の確保と安定経営に努めてまいります。

乳幼児の予防接種については、各医療機関の協力のもと、引き続き安全な予防接種体制を確保してまいります。

**(3) 地域福祉の促進**

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、地域住民のお互い思いやりをもって支えあう活動が重要になつてまいります。各町内会や民生委員協議会等関係団体と連携しながら、地域の活動等を通して人々の結びつきを深めるための声掛けや見守りが推進されるよう支援してまいります。

また、ボランティア団体への支援については、社会福祉協議会と連携を図りながら、各種相談やボランティアの育成、人材確保に努めてまいります。

**(4) 高齢者福祉の推進**

町の高齢者人口は、平成29年から横ばい傾向にありましたが、総人口の減少に伴い高齢化率は伸び続けています。高齢者が住み慣れた地域でいつまでも安心して健やかに暮らし続けられる地域社会を目指し、引き続き地域包括ケアシステムの深化・推進に取り組んでまいります。

高齢者の生活を支えるためには、公的なサービスだけではなく、地域住民やボラン

ティアなどによる支援も重要となるため、住民主体による介護予防活動やサロン活動の支援を行ってまいります。

さらに、認知症高齢者の増加に対応するため、認知症初期集中支援推進事業や認知症カフェ、認知症サポーター養成などの認知症施策を推進するとともに、成年後見制度の利用促進に向けた取り組みを進めてまいります。

現在、介護職の人材不足が深刻化しているため、人材確保への支援を行い、安心して介護を受けることのできる環境を整備してまいります。

また、高齢者や障がい者の外出をより一層支援するため、福祉タクシーの助成料金を増額し、福祉の増進を図ってまいります。

令和2年度は、令和3年度（令和5年度まで）を計画期間とする「八雲町高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画」の策定年度であり、適切な介護サービスの提供ができるようニーズの把握に努め、計画を策定してまいります。